

## 持続的な成長に向けた基本的な考え方

UBE創業の精神

「共存同栄」 「有限の鉱業から無限の工業へ」

UBE経営理念

技術の探求と革新の心で、未来につながる価値を創出し、  
社会の発展に貢献します

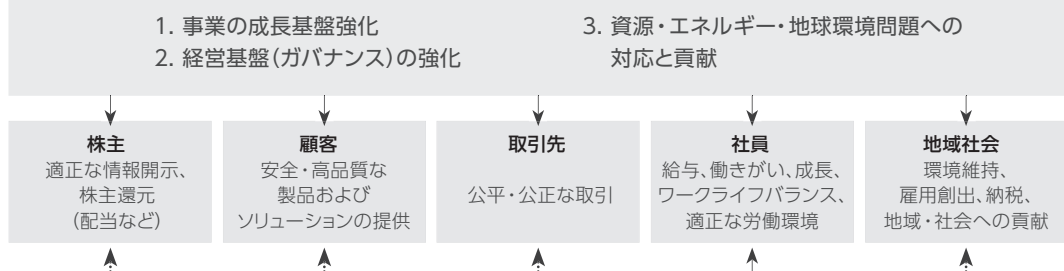
UBE経営方針

- |   |  |                                       |   |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1. 「倫理」<br>高い倫理観をもち、<br>法令および社会規範を<br>遵守します | 2. 「安全と安心」<br>地球環境保全に努め、<br>安全・安心なものづくりを<br>行います | 3. 「品質」<br>お客様と社会の信頼に応える<br>品質をお届けします | 4. 「人」<br>個性と多様性を尊重し、<br>健康で働きやすい職場を<br>つくります |
|---|--|---------------------------------------|---|

2025年のありたい姿  
[Vision UBE 2025]

「すべてのステークホルダーに価値を創出し続ける企業」

中期経営計画  
[Vision UBE 2025 -Prime Phase-]  
3つの基本方針



UBEグループ  
2050カーボンニュートラルへの  
挑戦

自らの事業活動から排出される

**温室効果ガス(GHG)の実質排出量ゼロ**に挑戦するとともに、

環境に貢献する製品・技術に関わる研究開発の推進と

イノベーションの実用化により、社会全体のカーボンニュートラルに貢献し、

脱炭素社会をリードするソリューションプロバイダーとして取り組んでまいります。

2050カーボンニュートラルに  
向けた中期目標

2030年度まで

温室効果ガス **排出量17%削減**(2013年度比 化学部門20%削減)

環境貢献型製品・技術<sup>(注)</sup>の売上高 **連結売上高比50%以上**

(注)省エネタイヤ向け合成ゴム、自動車軽量化向けナイロン、食品包装用ナイロン、ポリイミド製品、セパレータ、分離膜、ヘリオフレッシュ等

**見直しに関する注意事項** 本統合報告書には、UBEグループの計画、方針、戦略、将来の業績に関する見通しが記載されています。これらはすべて本書の発行時点で有効な情報に基づき判断されています。

リスクや不確実な要因により、UBEグループの実際の業績が本書に記載されている予測と異なる可能性があります。これらのリスクはUBEグループの事業領域を取り巻く経済情勢、競争環境、製品開発、為替レート、法令や規制の変更に限定されるものではありません。なお、会計年度の表示は、3月31日に終了した年度になります。2021年3月31日に終了した会計年度は2020年度です。



# 人を支える、暮らしを支える、 地球を支えるUBEグループ

## 目次

持続的な成長を 実現するための 価値創造ストーリー	2 4 9	財務・非財務ハイライト/2020年度トピックス ステークホルダーの皆様へ 財務戦略
	10	中期経営計画「Vision UBE 2025 -Prime Phase-」の進捗
	12	主要リスクと機会
	14	マテリアリティ
	15	2050年カーボンニュートラルへの挑戦
	16	UBEグループのイノベーション:環境新技術
	18	[特集]化学事業の成長と建設資材事業の統合
	22	UBEグループの沿革
	24	UBEグループのビジネスモデル
	26	UBEグループの価値創造プロセス
	28	社会に提供する価値:人を支える、暮らしを支える、地球を支える製品群
	30	:サーキュラーエコノミーの推進
価値創造と持続的な成長に 向けた取り組み	32 34	事業概況 事業戦略
価値創造と持続的な成長を 支える基盤:ESG	42 46 52 53 57 58 59	ESG鼎談 コーポレート・ガバナンス サステナビリティ 人材/人権 サプライチェーンマネジメント 環境安全マネジメント 労働安全衛生/保安防災
	60 61 62	環境保全 環境パフォーマンス 化学物質の排出抑制/産業廃棄物の削減 地球環境問題
	64	資源の有効利用
	65	製品安全/品質保証
財務セクション	66	10年間の要約財務情報
ネットワーク	68	
投資家情報	69	

**編集方針** UBEグループでは、経営方針、主要リスクと機会、マテリアリティ、ESG(環境・社会・ガバナンス)、ビジネスモデル、価値創造プロセスなどの非財務情報および財務情報のうち、企業価値に大きな影響を及ぼす情報に重点を置いた統合報告書を発行しています。

統合報告書2021では、新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)により環境が激動するなか、経営戦略、主要リスクと機会、マテリアリティ、2050年カーボンニュートラルへの挑戦、化学事業の成長と建設資材事業の統合、社会に提供する価値、業績およびセグメント別事業戦略、ESGに対する取り組みについてご理解を深めていただくことを目的に、「持続的な成長を実現するための価値創造ストーリー」「価値創造と持続的な成長に向けた取り組み」「価値創造と持続的な成長を支える基盤:ESG」「財務セクション」の4つのセクションによる構成でわかりやすく説明しています。

**参考としたガイドライン** 国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」(2021年1月改訂版)  
経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

**対象期間** 2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)

一部に2019年度以前および2021年度以降に予定されている活動や情報も含んでいます。

**対象範囲** 宇部興産株式会社および国内外のグループ会社